

一行詩

「いのちのち」生命のこえ

コンテスト

テーマ「尊い生命」

未来へ続く生命のこえ

全国各地で、殺人、強盗などの凶悪犯罪や少年のいじめによる自殺など「一人の命の尊さ」を無視したような事件・事故などが後を絶ちません。今回、宮崎県内の小・中・高校生や、一般の方々から一行詩を募集し、これらの方々に、「一人の命の尊さ」について考えていただき、犯罪の被害にあわれた方やそのご家族の辛くて悲しい想いを知っていただくことにより、これらの事件事故が一件でも減少することを祈るとともに、ひいては、安全で安心なまちづくりに寄与したいというものです。

小学生の部

1人で見るとさみしい。妹と見るとせつない。家族と見るときれい。そして月の中で。かがやいているおばあちゃん。河野 真凜(有明小6年)

中学生の部

赤ちゃんのころの写真を見ました。嬉しそうに笑っていましたが、だいてる父はもっと嬉しそうでした。中尾 咲希(鵬翔中1年)

高校生の部

赤ちゃんの小さなこぶしが一生懸命生きるぞというガッツポーズに見えた。富中 麻帆(宮崎北高3年)

一般の部

あなたの背中が初めて小さくみえた日病室の窓から外をながめる車イス姿涙をこらえ微笑む私 荒牧 理賀子(日南市)

※一行詩とは、短く詩の1行のみ。1息で読める長さの一行として50字以内で表現してください。

募集期間 平成29年7月21日(金)～9月12日(火)

応募対象 宮崎県内在住の方(小学生以上)

応募方法 ハガキ・FAX・チラシ裏面応募用紙にて受付、一人2作品までとし、自作で未発表のものに限ります。住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・職業(学校名・学年)・電話番号を明記してください。

発表 11月上旬。入賞者への連絡をもって発表とかえさせていただきます。応募作品は、みやざき被害者支援センターに帰属するものとします。

表彰 平成29年11月23日(木) 宮崎市民プラザ オルブライトホール

副賞 最優秀賞 5千円相当の賞品/4名 小・中・高校生・一般の中から1編ずつ  
優秀賞 3千円相当の賞品/20名 小・中・高校生・一般の中から5編ずつ  
入選 1千円相当の賞品/40名 小・中・高校生・一般の中から10編ずつ  
学校賞 1万円相当の賞品/3校

主催 (公社)みやざき被害者支援センター  
協賛 JA共済連宮崎  
協力 宮崎県警察・宮崎県教育委員会  
後援 宮崎県・宮崎県犯罪被害者等支援連絡協議会・宮崎県弁護士会・宮崎県臨床心理士会  
NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・朝日新聞社・毎日新聞社  
読売新聞西部本社・西日本新聞社・宮崎日日新聞社・夕刊デイリー新聞社  
MCN宮崎ケーブルテレビ・BTVケーブルテレビ(株)・(株)ケーブルメディアワイワイ  
(公財)宮崎県防犯協会連合会・(公財)宮崎県暴力追放センター・(一財)宮崎県交通安全協会  
宮崎県安全運転管理者等協議会

応募・お問い合わせは



宮崎県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 みやざき被害者支援センター  
〒880-0806 宮崎市広島1丁目13番10号  
TEL 0985-38-7831 FAX 0985-65-7831

FAX.0985-65-7831  
このまま郵送・ファクシミリで応募できます。なお、この応募用紙でなくても応募できます。

FAX.0985-65-7831  
このまま郵送・ファクシミリで応募できます。なお、この応募用紙でなくても応募できます。

# 一行詩「<sup>いのち</sup>生命のこえ」応募用紙

テーマ「<sup>とうと</sup>尊い<sup>いのち</sup>生命」～<sup>いのち</sup>未来へ続く生命のこえ

たったひとつしかない大切な命。

その命の尊さを、家族や友達、見守ってくれるたくさんの人への気持ちを通して、あなたの思いをお寄せください。

## 応募作品① 50文字

※一行詩とは、短い詩のことです。  
一息で読める長さを一行として50字以内で表現してください。


## 応募作品② 50文字


(フリガナ)

氏名 年齢 歳 性別 男・女

〒

住所

TEL - -

学校名 学校 年 組